

【放課後等デイサービス】 事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年7月19日

事業所名 みゆーくる

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			適切に行っています
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			適切に行っています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			適切に行っています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			今後、できるだけ多くの職員の参加のもと行っていきます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			保護者等のニーズを把握し、業務改善につなげています
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			現在ホームページで公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		今後検討してまいります
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			毎月動画視聴や講師による研修を定期的に行っています
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			アセスメントシートを使って、一人ひとり丁寧に行なっています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			毎回チームで行っています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			毎回楽しいプログラムになる様に工夫しています
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			一人ひとりの発達に応じ、集団適応・社会性の視点を持ちながら個別支援計画を作成しています
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			確認しています
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			振り返りと反省などを行っています
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			日々記録を取り、改善に繋げていく様になっています
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			6ヶ月に一度見直しを行っています
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	<input type="radio"/>			行っています

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など適任者を選んで出席します
	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		状況に応じ関係機関との連携を取っています
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		可能な限り行なっています
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在ははないが、今後利用する方がいれば情報提供していきます
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		必要に応じて連携を取っています
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	事業所として交流活動等の実績はないが、保護者のご要望があれば通園先との連携などを行なっています
	25	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		今後も参加していきます
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○		日々の活動内容を保護者に伝え、情報共有しています
保護者への説明責任等	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		必要に応じて行っております
	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○		保護者からも丁寧な説明と好評をいただいています
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		心理士や児童発達支援管理責任者が対応し、希望に応じて相談を受け付けています
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		父母の会はありませんが、保護者同士の交流や連携は図っています
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○		相談があった時は、迅速かつ適切に対応しています
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		おたよりを定期的に発行しています
	33	個人情報に十分注意している		○		十分に注意しています
	34	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○		十分に配慮しています
35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		クリスマス会などに地域の方を招待しています	

非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	毎月、避難訓練を実施し、実施時には掲示で保護者にお伝えするようになっています。マニュアルについては作成中です。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		非常災害の発生に備え、避難訓練を毎月実施しています
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		個々で学んではいますが、職員集団で今後機会を作っていきます
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	今後、身体拘束について、職員間で周知し、保護者の了承を得るとともに、同意書を作成していきます。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事は提供していませんが、教材にアレルギー物質が含まれる可能性のある際は、随時保護者に確認していきます。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	ヒヤリハットを作成し共有しています